

## COPDってどんな病気？

COPD(慢性閉塞性肺疾患)とは、よく聞く病名ですがどんな病気なのでしょうか。簡単にいうと、タバコなどの有害物質を吸い込み続けたために呼吸がしにくくなる病気です。喫煙者の5〜6人に1人がかかり、日本では推定50万人の患者のうち治療を受けているのは数十万人程とされています。徐々に進行して呼吸機能が低下し、息切れや呼吸困難を生じます。また、肺気腫が進行して呼吸状態がさらに悪化する人もいます。最近では呼吸器だけの疾患ではなく、全身性炎症をきたし、骨粗しょう症やサルコペニア、抑うつ神経症など多彩な併存疾患を伴って生活の質を落とすことも分かっています。

喫煙歴のある40歳以上の人  
が、咳・痰がよく出たり、坂

道や階段ですぐに息切れしてしまったり、風邪をひくとすぐに呼吸状態が悪くなるなどの症状を感じるようなら要注意です。ぜひ、近くの内科の先生に相談してください。診断は呼吸機能検査を中心に喫煙歴や聴診所見などで行い、判断に迷う症例などは高次施設でより詳細な検査を行って診断を確定します。

治療は、禁煙・薬物吸入療法・呼吸器リハビリなどで病勢を抑えることです。高度進行例では在宅酸素療法や人工呼吸器による換気補助療法を行うこともあります。

まずは、禁煙。咳・痰・息切れが続くようなら早めに受診。少しでも早く進行を止めることが対応の第一歩です。